



NVIDIA RTX A5500 創造する力

プロフェッショナルのための拡大したパフォーマンス

NVIDIA RTX™ A5500 は、要求の厳しいマルチアプリケーションワークフローに必要なパフォーマンスと機能を提供する高性能ワークステーショングラフィックスカードです。NVIDIA Ampere アーキテクチャに基づいて構築された RTX A5500 は、80個の第2世代RTコア、320個の第3世代Tensorコア、および10,240個の CUDA® コアと、エラー訂正コード (ECC) を備えた24 GBのグラフィックスメモリを組み合わせ、レンダリング、AI、グラフィックスおよび計算タスクを強化します。複数のGPU1を NVIDIA® NVLink™ 2 で構成して、大規模モデル、超高解像度レンダリング、複雑なコンピューティングワークロードなど、メモリを大量に消費するタスクのメモリとパフォーマンスを拡張します。

NVIDIA RTX 仮想ワークステーション (vWS) ソフトウェアのサポートにより、RTX A5500 は、最も複雑な設計、視覚化、および計算作業をどこからでも処理できるようになります。

NVIDIA RTXプロフェッショナルグラフィックスカードは、多くのプロフェッショナルアプリケーションで認定されており、主要なソフトウェアベンダー (ISV) とワークステーションメーカーによってテストされ、サポートスペシャリストのグローバルチームによって支えられています。ミッションクリティカルなビジネスに対応する高度なビジュアルコンピューティングソリューションを使い、重要な仕事に集中できる安心感を手に入れてください。

特徴

- > PCI Express Gen 4
- > AV1 デコード対応
- > オーディオ付きDisplayPort
- > ステレオコネクタによる3D ステレオ対応
- > NVIDIA GPUDirect® ビデオ対応
- > NVIDIA 仮想 GPU (vGPU) ソフトウェア対応
- > NVIDIA Quadro® Sync II³ 互換
- > NVIDIA RTX Experience™
- > NVIDIA RTX Desktop Manager ソフト
- > ウェアNVIDIA RTX IO 対応
- > HDCP 2.2 サポート
- > NVIDIA Mosaic⁴ テクノロジー

NVIDIA RTX A5500 のさらに詳しい情報は www.nvidia.com/ja-jp/design-visualization/rtx-a5500/

1 2つのRTX A5500 カードをNVLinkに接続して、パフォーマンスとメモリ容量を48 GBに拡張できるのは、アプリケーションがNVLinkテクノロジーをサポートしている場合のみです。アプリケーションプロバイダーに連絡して、NVLinkのサポートを確認してください。1 2 NVIDIA NVLink は別売りです。1 3 Quadro SyncIIカード は別売りです。1 4 Windows10およびLinux。1 5 GPUブーストクロックに元ずくピークレートです。1 6 新しいスパス性能を使用している有効なテラフロップス値 (TFLOPS)。1 7 RTX A5500 のディスプレイポートは、デフォルトでオンになっています。vGPU ソフトウェアを使用している場合、ディスプレイポートはアクティブではありません。1 8 製品は、公開されているKhronos仕様に基づいており、利用可能な場合はKhronos適合性テストプロセスに合格することが期待されています。現在の適合状況は、www.khronos.org/conformance で確認できます。

© 2022 NVIDIA Corporation. All rights reserved. NVIDIA, the NVIDIA logo, CUDA, GPUDirect, NVLink, Quadro, RTX Experience, and RTX are trademarks and/or registered trademarks of NVIDIA Corporation in the U.S. and other countries. Other company and product names may be trademarks of the respective companies with which they are associated. All other trademarks are property of their respective owners.

仕様

| | |
|----------------------------------|---|
| GPU メモリー | 24 GB GDDR6 |
| メモリーインタフェース | 384-bit |
| メモリー帯域幅 | 768 GB/s |
| エラー訂正コード (ECC) | Yes |
| NVIDIA Ampere アーキテクチャベースのCUDAコア数 | 10,240 |
| NVIDIA 第3世代 Tensorコア | 320 |
| NVIDIA 第2世代 RT コア | 80 |
| 単精度性能 | 34.1 TFLOPS ⁵ |
| RT コア性能 | 66.6 TFLOPS ⁵ |
| Tensor 性能 | 272.8 TFLOPS ⁶ |
| NVIDIA NVLink | ロープロファイルブリッジで2基の NVIDIA RTX A5500 GPU を接続 ⁷ |
| NVIDIA NVLink 帯域幅 | 112.5 GB/s (双方向) |
| システムインタフェース | PCI Express 4.0 x16 |
| 消費電力 | 最大ボードパワー: 230 W |
| サーマルソリューション | アクティブ |
| フォームファクター | 4.4" H x 10.5" L, デュアルスロット, フルハイ |
| ディスプレイコネクタ | 4x DisplayPort 1.4a ⁷ |
| 最大同時ディスプレイ表示 | 4x 4096 x 2160 @ 120 Hz 4x 5120 x 2880 @ 60 Hz 2x 7680 x 4320 @ 60 Hz |
| 電源コネクタ | 1x 8-pin PCIe |
| エンコード/デコードエンジン | 1x エンコード, 2x デコード (+AV1 デコード) |
| VR ready | Yes |
| vGPU ソフトウェア対応 ⁷ | NVIDIA vPC/vApps NVIDIA RTX Virtual Workstation |
| vGPU プロファイル対応 | 仮想GPUライセンスガイドを参照 |
| グラフィックス APIs | Direct3D 12, Shader Model 6.6, OpenGL 4.6 ⁸ , Vulkan 1.3 ⁸ |
| コンピュータ APIs | CUDA 11.6, DirectCompute, OpenCL 3.0 |

RYOYO